

塩浜2丁目緑化試験および砂付試験の現地見学会 開催結果概要

資料 - 2

開催日時：H22年 7月15日(木)
13:00～14:00
場所：市川市塩浜2丁目工事現場
緑化試験および砂付試験箇所
天候：晴れ
参加者：22名(委員4名、一般10名、
関係者4名、事務局4名)
配布資料：緑化試験および砂付試験の
概要資料



1

1. 緑化試験箇所の状況 (1 / 2)

土のうによる基盤箇所の状況

H22年4月16日(春季公開調査時)



3ヵ月後

H22年7月15日(今回)



前回4月16日の公開調査時と比べ、試験対象種や混入種または侵入種(いわゆる雑草)を含め、全体として成長がみられた。試験対象種で生育している種は、ハマニンニク、イワダレソウ、ハマヒルガオの3種であった。

ハマヒルガオは4月に再発芽がみられたが、今回(7月)までに大きな成長・伸張や、開花した状況はみられなかった。



2

1. 緑化試験箇所の状況 (2 / 2)

石への間詰めによる基盤箇所の状況

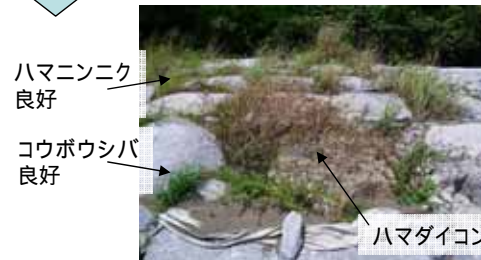
H22年4月16日 (春季公開調査時)



H22年7月15日 (今回)



3ヵ月後



試験対象種で残っている種は、ハマダイコン、ハマニンニク、イワダレソウ、コウボウシバであり、生育は良好である。

ただし、前回4月16日公開調査時に開花・結実したハマダイコンは、今回ほとんど枯れており、種子が落下していた。

海砂の基盤で混入種または侵入種が多く、特にコマツヨイクサが多く生育している。

3

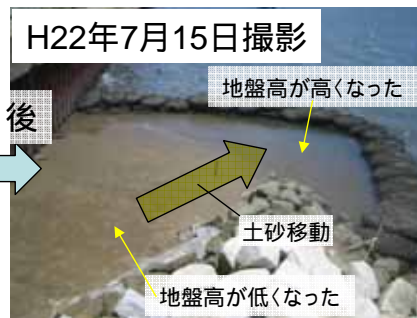
2. 砂付試験箇所の状況

4

(1) 置き砂の形状変化



4ヵ月後



置き砂の岸側の地盤が低くなり、沖側の地盤が高くなっており、土砂が沖側へ移動した状況がみられた。

(2) 試験箇所の生物生息状況



置き砂の干出部にはコメツギガニが多数生息している。



置き砂低潮帯付近ではホンビノスガイ、アサリ、マテガイなどの貝類が確認された。



干潮時の海水溜まりには、エビジャコ、マハゼ、ヤドカリ類などが確認された。